ひとくち法話

宝林宝樹（ほうりんほうじゅ）

（45）

「ペットのお骨、お墓に納めていいですか」とお問合せがありました。う～ん、どうしたものか・・・。

やむなくと言うと語弊があるかも知れませんが、ペット専用のお墓を設けました。銘板も掲げたので「苗字どうしましょうか」とお尋ねしたところ「うちの子ですから」とキッパリ。永らく共に暮らしたペットは家族同然なんですね。

山川草木悉有仏性という言葉もあります。全てのものが悟り仏になれる種をもっているということでしょう。また七高僧のお一人である善導大師は、阿弥陀仏の極楽浄土には龍や夜叉や阿修羅まで居るから程度の低い浄土だという批判に対して、そのような迷いの世界に居たものまで救いとって捨てないのだから、程度が低いどころか最もすぐれた浄土であると論破されました。

お浄土という処は、先に行かれた方々やご縁あった様々な者達が待っていてくれて、また出会える処なんでしょう。行ったことありませんが、阿弥陀さまがもし生まれさせることができなかったら私は仏になりませんとまでおっしゃってくださっているのですから。